口頭発表 S-1

水資源に関する国の動向について

○佐藤直哉(国土交省水管理･国土保全局水資源部水資源政策課)

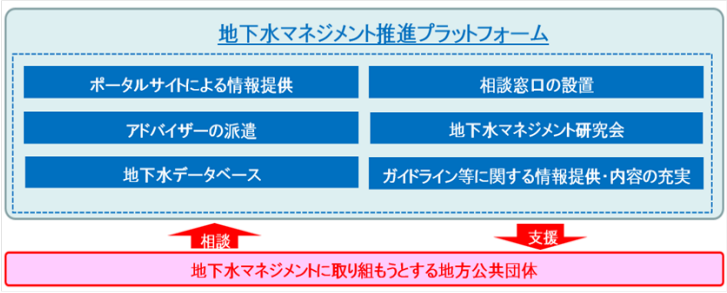
背景

地下水は、身近な水源として多様な用途に利用され、広く地域の社会や文化と関わっているところであり、その過剰採取による地盤沈下をはじめとする障害は、その回復に極めて長期間を要する。また、地下水は一般的に地域性が極めて高く、その挙動等の実態が不明な地域が多い。平成26年に健全な水循環の維持回復を目的として水循環基本法が制定され、地下水として循環することが水循環に含まれると明示された。令和6年能登半島地震では上下水道等のインフラが被災し、生活用水の確保が課題となり、水循環を構成する水インフラの耐震化や地下水の活用等による代替性･多重性の確保など、平常時からの備えの重要性が顕在化した。このような状況を踏まえ、令和6年8月に新たな水循循環基本計画が閣議決定され、大規模災害時における代替水源として地下水活用等の取組の推進を図るため、参考となるガイドラインや関連情報を地方公共団体に提供すること等により地域の取組を支援することなどが位置付けられた。

取組内容

本発表では、地下水マネジメントと代替水源の確保に関する取組を紹介する。

地域の地下水の課題問題を一元的に解決し、多様な関係者の協力の下、地下水マネジメントに取り組む地方公共団体の取り組みを支え、応援していくための、「地下水マネジメント推進プラットフォーム」の活動を令和５年３月より開始。



ポータルサイトによる情報提供

地下水に関する情報を一元的に得ることができるポータルサイトを設置し、地下水マネジメントに必要な基礎的な情報、地下水盆の概況、条例策定状況、地下水データベース等を紹介。

アドバイザーの派遣

水循環アドバイザーの制度を活用し、地方公共団体等の課題に応じた、水循環アドバイザーの紹介、派遣を実施。

【令和5年度派遣状況】※地下水関係のみ
- R6.1　高知県香南市
- R6.2　北海道ニセコ町
- R6.3　長野県安曇野市
  「水環境基本計画策定に向けた取組」

【令和6年度派遣状況】
- R6.7,R6.9　神奈川県箱根町
  「地下水の実態把握について」
- R6.7　静岡県静岡市
  「先進自治体の地下水マネジメントの取組」
- R6.8　宮城県名取市
  「災害時の井戸水活用について」

香南市派遣状況

ニセコ町派遣状況(web)

地下水マネジメント研究会

課題の解決の方向性を見いだすことを支援するため、地下水に関する基礎的な知識を提供するとともに、先進的に取組を進めている地方公共団体の経験、ノウハウや、大学、研究機関、企業、NPOなどの多様な主体の知見等を提供し、意見交換を実施。

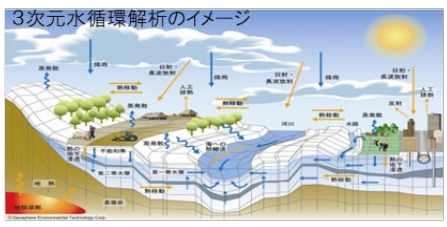
【令和5年開催状況】参加者　約250名/回
- 第1回（R5.3）地下水マネジメントの必要性
- 第2回（R5.6）地下水の観測他
- 第3回（R5.9）地域特性の整理他
- 第4回（R6.1）地下水の実態把握

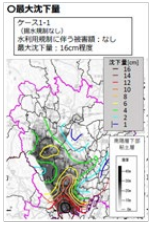
【令和6年度開催状況】年間3～4回開催予定
- 第1回（5/31）地下水の実態把握（初級編）
- 第2回（7/ 5）　災害時の地下水活用を考える

web開催状況

動画によるバーチャル地下水観測

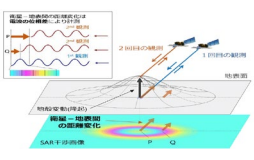
【図1　地下水マネジメント推進プラットホームの概要】





【図2　汎用版地下水解析(3次元水循環解析)の適用検討】

従来の地盤変動測量(水準測量)


【出典】第53回国土地理院報告会

【図3　衛星 SAR 解析データを用いた地盤沈下量の把握検討】

【図4　災害時地下水利用ガイドラインの概要】